

■加藤勘十 労働運動家、政治家。鉱山スト指導して労組同盟を結成、トップ当選するも検挙、戦後は社会党の重鎮。

かとうかんじゅう

大本教・・・1892＝ 愛知県丹羽郡岩倉町で三男に生まれる。

日清戦争始・1894＝ 2歳：

田中正造直訴1901＝ 9歳：

教科書疑獄・1902＝10歳：小学校を卒業、

日露戦争終・1905＝13歳：

苦学して中学に通うも中退。

韓国併合・・・1910＝18歳：

明治天皇没・1912＝20歳：徴兵検査で甲種合格、軍隊に入り、

第一次大戦始1914＝22歳：除隊後、日本大学の夜学で法律を学び、弁論部幹事となる。

本格政党内閣1918＝26歳：{労働世界}記者を経て、_{東京毎日新聞}記者となり、シベリア出兵に従軍し、戦争に恐怖と疑問を抱いて、普選運動・労働運動に参加。

ベルサイユ条約・1919＝27歳：

大暴落・・・1920＝28歳：*友人浅原健三と共に、八幡製鉄争議に参加し、検挙される。出獄後、全日本鉱夫総連合会創立に参加し、

原敬首相暗殺1921＝29歳：

護憲三派圧勝1924＝32歳：_別子銅山ストライキを指導。日本労働総同盟の主事兼会計となり、

治安維持法・1925＝33歳：全日本鉱夫総連合主事に就任。

円本時代始・1926＝34歳：_尾去沢鉱山ストライキを指導。日本労働党・日本労働組合同盟の結成に参加し、中央執行委員に選出。

金融恐慌・・・1927＝35歳：_磐城入山ストライキを指導。

共産党事件・1928＝36歳：全日本鉱夫総連合主事を退任。

海軍軍縮条約1930＝38歳：_関東金属産業労働組合委員長に就任し、

満州事変・・・1931＝39歳：_日本労働組合の日本労働倶楽部参加に反対、合法左翼として倶楽部排撃同盟を組織、

_総同盟では、左派として右派の松岡駒吉らと対立、

国際連盟脱退1933＝41歳：_全労統一全国会議を結成して委員長、

帝人疑獄事件1934＝42歳：_日本労働組合全国評議会を結成して委員長に就任。

芥川直木賞始1935＝43歳：_AFLの招きで渡米し亡命中の野坂参三と会見、帰国後、鈴木茂三郎らと社会大衆党との合同運動を進め、

二二六事件・1936＝44歳：_総選挙では、反戦・反ファシズムを掲げて全国最高点で当選するなど、人民戦線の運動を展開したが、

日中戦争始・1937＝45歳：*人民戦線事件で検挙・起訴された。

日米開戦・・・1941＝49歳：

大審院で審理の続く中、

年金+総武装 1944＝52歳：石本静枝(加藤ンツエ)と結婚後、

敗戦・・・1945＝53歳：*敗戦を迎え、日本社会党結成に参加、常任執行委員・労働連絡部長となり、左派グループを形成、

新憲法公布・1946＝54歳：_総選挙で当選、以後当選9回。

新憲法施行・1947＝55歳：_二・一ストでは共産党と連絡を取り合うも、やがて絶縁を表明。

極東裁判決・1948＝56歳：_労農派の理論に基礎をおく左派の領袖として、芦田内閣の労相に就任する。

朝鮮戦争始・1950＝58歳：社会党組織局長、

独立回復・・・1951＝59歳：分裂に際して、右派社会党に参加、

組織局長・教宣局長を歴任、

55年体制始・1955＝63歳：統一大会では統制委員長となり、

インストラメン・1958＝66歳：憲法擁護特別委員長に転じ、

安保闘争・・・1960＝68歳：

春闘対策特別委員長などを歴任した。

TV宇宙中継始1963＝71歳：「自叙伝」。

東京リビック 1964＝72歳：

全共闘ピーク・1969＝77歳：*総選挙に立候補せず、第一線を退いて社会党顧問。

石油ショック1973＝81歳：

成田衝突・・・1978＝86歳：_没した。

「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、